



令和7年度第29回関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会要項

主 催 関東陸上競技協会・(公財)東京陸上競技協会・関東高等学校体育連盟
主 管 (一財)山梨陸上競技協会・関東高等学校体育連盟陸上競技専門部・山梨県高等学校体育連盟
後 援 (公財)山梨県スポーツ協会・山梨県教育委員会・甲府市・甲府市教育委員会

1. 期 日

令和7年10月18日(土) 開会式 午前 8時40分 競技開始 午前 9時30分 (雨天決行)
10月19日(日) 競技開始 午前10時00分 (雨天決行)

2. 会 場

J I T リサイクルインク スタジアム (小瀬スポーツ公園陸上競技場)・補助競技場・球技場
〒400-0836 山梨県甲府市小瀬町840 TEL: 055-243-3111

3. 競技種目 男 子 (20 種目) 女 子 (19 種目)

18日(土) 男 子 100m 400m 1500m 110mH 3000mSC(予) 5000mW 4×100mR
棒高跳 走幅跳 円盤投 やり投
女 子 100m 400m 1500m 100mH 5000mW 4×100mR
棒高跳 走幅跳 円盤投 やり投
19日(日) 男 子 200m 800m 5000m 400mH 3000mSC(決) 4×400mR
走高跳 三段跳 砲丸投 ハンマー投
女 子 200m 800m 3000m 400mH 4×400mR
走高跳 三段跳 砲丸投 ハンマー投

4. 競技規定

2025年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則、並びに本大会申し合わせ事項による。また、本大会はWRk対象競技会として申請しており、WRk対象種目は投てき種目とリレー以外の全種目とする。

5. 参加資格

- (1)競技者は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。ただし、休学中、留学中の生徒を除く。
- (2)競技者は、各都県高等学校体育連盟加盟校の生徒で、当該競技専門部に登録し、当該競技要項により関東選抜新人大会の参加資格を得た者に限る。また、都県陸上競技協会を経て日本陸上競技連盟に登録された競技者であること。
- (3)平成19年4月2日以降に生まれた者(1・2年生に限る)。ただし、出場は同一競技2回までとし、同一学年の出場は1回限りとする。
- (4)チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5)複数校合同チームの参加は認めない。ただし、統廃合の対象となる学校については統廃合完了前の2年間に限り合同チームによる大会参加を認める。

- (6)転校(転籍)後6ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)ただし、一家転住等やむを得ない場合は、各都県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
- (7)参加する競技者は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属する高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (8)参加資格の特例

- ア 上記(1)、(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により、大会参加資格を満たすと判断され、かつ各都県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
- イ 上記(3)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在学する生徒の出場は、同一競技2回限りとする。

【大会参加資格の別途に定める規定】

- (1)学校教育法第72条、115条、124条、134条の学校に在籍し、各都県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- (2)以下の条件を具備すること。

① 大会参加を認める条件

- ア 関東高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
- イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、年齢、修業年限とともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認められない。
- ウ 各学校にあっては、各都県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、関東大会への出場条件が満されていること。
- エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べ著しく均衡を失することなく、運営が適切であること。

② 大会参加に際して守るべき条件

- ア 関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会要項を遵守し、競技種目、大会申し合わせ事項等に従うとともに大会の円滑な運営に協力すること。
- イ 大会参加に際しては、責任ある引率責任者が引率するとともに、万一事故の発生に備えて傷害・賠償責任保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
- ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

6. 参加制限

- (1)出場は各種目とも各都県推薦の3名(3チーム)とする。ただし、開催都県のみ6名(6チーム)出場できる。
- (2)同一人は2種目(リレーは除く)とし、リレーは1校(1チーム)6名以内とする。
- (3)外国人留学生については、1校、男子4名・女子3名以内とし、1種目1校1名以内とする(この種目にはリレーを含む)。ただし、リレーに出場する場合には、個人種目と合わせて、男子は1校最大4種目、女子は1校最大3種目とする。

7. 引率・監督

- (1)参加者は、必ず引率責任者によって引率される。引率責任者は選手のすべての行動に対し責任を負うものとする。

- (2)引率責任者は、団体の場合は校長が定める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委託された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示されたもの)も可とする。ただし、「部活動指導員」に引率を委託する校長は都県高体連会長に事前に届け出をすること。
- (3)監督は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。ただし、各都県における規定が定められ、引率・監督者がこの基準により限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。

8. 参加申込

(1)申込期日 令和7年9月26日(金)必着 (埼玉県・千葉県は10月1日(水)データ必着)

(2)申込書類

- ア 様式1 選手並びに役員参加申込書・・・・・・・・・・都県別男女 各1通
- イ 様式2 大会参加申込書・・・・・・・・・・学校別男女各1通
※「日本陸連エントリーシステム」よりダウンロードしたExcelファイル「印刷」シート
- ウ 様式3 各都県予選会成績表・・・・・・・・・・都県別男女 各1通
- エ 様式4 学校別宿泊、弁当申込書・・・・・・・・・・学校別 1通(サイト申込後印刷)
- オ 様式5 参加料納入一覧表・・・・・・・・・・都県別 1通
- カ 様式6 プログラム申し込み一覧表・・・・・・・・・・都県別 1通
- キ 都県大会プログラム・・・・・・・・・・1部
- ク 都県大会記録集(予選ラウンドからの記録一覧)・・1部

(3)申込方法 所定の様式により、各都県高等学校体育連盟陸上競技専門部でまとめ下記に申し込む。

〒400-0306 山梨県南アルプス市小笠原 1500-2 (山梨県立巨摩高等学校内)

TEL:055-282-1163 FAX:055-282-1104

第29回関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会事務局 澤邊 拓也 宛

※個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。詳しくは、【関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会における個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて】を参照してください。

9. 参加料

(1)参加料 1人 3,000円

(2)納入方法 所定の様式により、各都県高体連陸上競技専門部でまとめ下記の口座に振り込む。

振込先) 銀行名・支店名：山梨中央銀行・武田通支店 (店番号259)

口座番号：普通 1326509

口座名：カトウコウリクジ ヨウザ イム ダイヒョウ ショジマ トモ

関東高校陸上財務 代表 塩島 朋子

連絡先) 〒400-0035 山梨県甲府市飯田5丁目6-23

山梨県立中央高等学校 塩島 朋子 宛

TEL 055-226-4411 FAX 055-226-4420

(3)参加料は理由の如何にかかわらず返金はしない。

10. 宿 泊

- (1) 本大会参加者の宿泊は、必ず大会事務局で斡旋した宿舎とする。
- (2) 宿泊費 1泊2食(税込) A：14,000円 B：13,000円 C：11,000円
 1泊朝食(税込) A：12,000円 B：11,000円 C：9,000円
 【昼食弁当】1食：900円(税込)お茶付き
- (3) 宿泊の詳細については宿泊要項を参照のこと。
- (4) 宿泊予納金は徴収しない。
- (5) 申込方法は、各都県高等学校体育連盟陸上競技専門部で一括し、別紙「令和7年度関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会宿泊要項」に記載の申込先に申し込むこと。

11. 表 彰

- (1) 種目別8位まで賞状を授与する。

12. 学校受付

- (1) 取違等防止のため、様式2「大会参加申込書(学校別)」(写し)を提出により、アスリートビブス(主催者作成)・プログラム・領収書(参加料・プログラム代)を学校別に配付する。
- (2) 日 時 令和7年10月17日(金) 12時00分～
- (3) 場 所 J I T リサイクルインク スタジアム正面付近のT I Cにて
 【10月18日(土)以降も同じ場所：T I Cで行う】

13. 諸会議

- (1) 各都県委員長会議 令和7年10月17日(金) 11時00分 メイン競技場内会議室
- (2) 監督会議 令和7年10月17日(金) 13時00分 メイン競技場内会議室
- (3) 競技力向上委員長会議 令和7年10月17日(金) 14時00分 メイン競技場内会議室

14. その他

- (1) 競技中発生した疾病・傷害などの応急処置については主催者側で行うが、以後の処置は行わない。
- (2) 原則として棒高跳のポールは各校で準備すること。競技場で備え付けていない投てき用具については、検査を受け承認されたものに限り使用できる。その他の競技用具は、すべて大会事務局で用意したものを使用すること(各校所有のポールは、各自で運搬してください。輸送の斡旋はありません)。
- (3) 当競技場は全天候舗装であり、スパイクシューズのピンの長さは、9mm以下とする。但し、走高跳・やり投は12mm以下とする。
- (4) 大会期間中の駐車場利用については、他競技の関東大会とも重なっているため大型および中型バスは第3駐車場を利用すること。また、第3駐車場には警備員を配置するので指示に従うこと。その際、バスレーンにはバス以外の車両(普通車・軽自動車・バイクなど)を駐車することができないので注意すること。